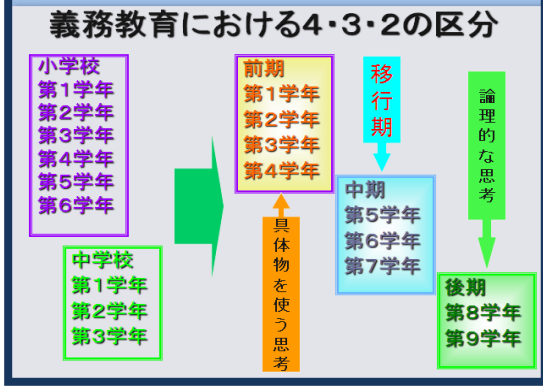


# ひまねき

警固屋学園通信  
第29号  
24.2.1発行

## 「教えて考えさせる授業」 ～小中合同授業研究を通して～

警固屋学園では、教育目標を「未来を創造する豊かな心と確かな学力を身に付けた子どもの育成」とし、その実現のために、教職員全員で教育研究を進めています。その中で、最も大切に行っていることが、より質の高い授業を創造するための授業研究です。



一般的に、小学校の授業は「ゆつくりといねいに」、中学校の授業は「専門的でスピーディーに」行われる、と言われてきま

した。この違いにより小学生から中学生になった時、とまどう子どもたちが多く、いわゆる「中一ギャップ」の一つの原因となったようです。

警固屋学園では、中期（小五から中一）の子どもたちを「具体物を使う思考」から「論理的な思考」への『移行期』としてとらえています。移行期の発達に即した授業をすることで、中一ギャップをなくすよう、授業改善に取り組んでいます。乗り入れ授業による工夫はもちろん、普段の授業の中でも、中学校の教員で「教えて考えさせる授業」をテーマにかかげ、研究授業で小中双方の授業力を高め合っています。



7年生美術



6年生国語

◇今日、五時間目に国語がありました。「ふるさとの良さ」というところをしました。今日は、たくさんの先生が来られました。先生もとてもきんちゅうしていました。もちろん僕もきんちゅうしました。が、がんばりました。（六年生）

◇今日は五時間目の美術の時間に小学校の先生と教育委員会の方が研修に來られました。はじめの方は緊張していましたが、いざ授業に集中してみると緊張は抜けました。今回は鑑賞の勉強が主でしたが、いつもと違った感じだったけれど、なかなか楽しかったです。（七年生）

## 県外からの視察相次ぐ

平成二十二年度に全国で初めて呉市で小中一貫教育の研究が始まって十二年目を迎える今、小中一貫教育のよさは、全国に広がり、現在、全国の市区町村のうち、小中連携教育または一貫教育に関わっている所は、その七割を超えたと言われています。

「これから、本格的に小中一貫教育を取り入れたい」「小中一貫教育校としてスタートしたがうまく進まない」、という全国の教育関係者が、成果をあげている呉市に視察に訪れています。

警固屋学園にも、たくさんの方の視察があまりあります。七月のサミットの時には約七〇〇人も人が見に来られましたが、その時に参加でき

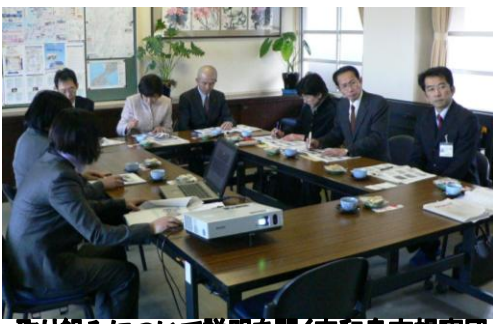


授業の様子を見て回る高知市視察団

なかつた人や、その時の様子聞いて「是非、警固屋学園に学びたい」と、来訪されます。

一月以降、北海道札幌市・宮崎県新富町・愛媛県宇和島市から視察に来られました。

視察に来られた方たちは、子どもたちの様子をみて、「子どもたちの表情がいい」「落ち着いて熱心に授業に臨んでいる」など、いつも誉めてくださっています。



取り組みについて説明を聞く宇和島市視察団

**小中合同「漢字検定」  
ともに机を並べます…**

一月二十七日(金)に漢字検定を行いました。警固屋学園では五年生以上を対象に、小中合同で漢字検定を年に二回受けています。

小中合同で行うことで、それぞれにメリットがあります。警固屋中学校は小規模校なので、本来なら人数を集めるのが大変ですが、小学生が入って人数が集まりやすくなりました。また、小学生が検定を受けようとする、他の会場まで受検に行かなければならなかったのが、警固屋中学校で受けることができると、他の会場まで受検に行かなければならなかったのが、警固屋中学校で受けることができると、他の会場まで受検に行かなければならなかったのが、警固屋中学校で受けることができるようになりました。

今回は計二十三名の人が受検しました。中でも五年生は、初めての体験にとまどっている人が多かったです。



漢字検定を一緒に受検する小学生と中学生

ですが、一生懸命に取り組んでいました。この他にも、英語検定や数学検定もあります。資格や検定は、できる時にたくさん取っておくといいですね。一つ合格するとそれだけ自信がきます。自分で目標を設定してチャレンジしていきましよう。

今、九年生は全員、進学を目指して、受験まっただ中で、奮闘中です。中学校の間に取得した英語検定・数学検定・漢字検定などの資格は、受験の時の書類にも記載しています。

**ホッと・ハート・メモ**

警固屋学園では五年生から中学校校舎で生活していますが、教室がたくさんあって迷うことも多かったようです。そこで、四月からの移動に備えて、少しウォーミングアップをしようとして、四年生が中学校校舎の理科室などにデビューしました。四年生もとても楽しみにしていたそうです。中学生の皆さん、五・六年生の皆さん、かわいい四年生を温かく迎えてあげましよう。

**《編集後記》**

この時期のマスクは欠かせません。少しずつですが、インフルエンザの波が警固屋にもやってきました。波が小さいままに春が来ることを祈っています。

ご意見・ご感想は、警固屋小学校・中学校にお寄せください。窓口は各教頭が担当いたします。